

# スポーツ・ヘルスプロモーション論概論 (01EK001)

単位数	2単位	担当教官	宗像恒次 他
授業時間	1学期 水曜日 7・8時限	研究室	東京地区 電話03-3942-6453 (宗像) つくば地区 D511 電話029-853-3971 (宗像)
授業形態	講義	オフィスアワー	木曜日 17時30分～18時20分 (宗像)
標準履修年次	1・2年次		

**学習目標** 現代社会におけるスポーツプロモーションとヘルスプロモーションの理念を理解し、その相互の合理的な関係化による相乗的成果を上げることの重要性について学習する。

**授業概要** スポーツとヘルスの相関的・相乗的な関係の基本理念とその哲学について、人間存在の全人な特質との関係から概説する。また、現代社会における長寿化、情報化等される生活様態の変容に注目しながら、人間存在の現代的課題を取り上げ、そこにおけるスポーツ・健康文化の享受によるウェルビーイングの可能性を環境、社会・文化、諸個人のライフスタイルやライフステージとの関係から概説し、エコロジーと共生を希求する21世紀世界におけるスポーツ・ヘルスプロモーションの相乗的な効果を上げるための政策課題について講義する。

## テキスト

### 参考図書

- 1) 菊幸一他, スポーツプロモーション論, 明和出版
- 2) 宗像恒次, 自分のDNA気質を知れば、人生が科学的に変わる、講談社プラスα新書

### 評価方法

1. 授業参加の積極性を評価する。
2. レポートあるいはテストの成績を評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	全教員	スポーツ・ヘルスプロモーション論オリエンテーション	
2	宗像恒次	現代社会におけるスポーツ・ヘルスプロモーションの必要性と基本技術	知識基盤社会 他者報酬型・自己報酬型ライフスタイル DNA気質 キャリア開発と人間関係改善 自己イメージの向上
3	菊 幸一	スポーツプロモーションの現代的課題と文献研究	プロモーション ライフスタイル 人間的生の充実 グループワーキング
4	高橋義雄	近代のスポーツイベント史と社会の関係	メディア・イベント 商業化 社会問題 民営化 地域活性化
5	吉田 章	野外スポーツと現代の健康問題Ⅰ・Ⅱ スポーツ・ヘルスプロモーションと自然環境	自然 環境 体験 冒険 挑戦 脱日常 覚醒 発見 交流 開放
6	山口 香	オリンピックにおいてメダル獲得世界トップ5を目指すJOCの戦略を検証する	情報戦略 コーチング ナショナルトレーニングセンター スポーツの理念
7	久野譜也	スポーツ・ヘルスプロモーションと産業Ⅰ・Ⅱ	雇用 職域化 高齢化 ベンチャー企業 NPO
8	渡部厚一	スポーツ・ヘルスプロモーションにおける医療	医療 保健所 スポーツ医学 ドーピング防止
9	橋本佐由理	心を科学するⅠ・Ⅱ ～人々の健康行動理解のために～	健康行動支援 環境 認知 行動 遠隔支援 高齢者の運動行動支援 心理パターン理論 二重意思論 イメージスクリプト
10	菊 幸一	スポーツ・ヘルスプロモーションに係わる文献とその動向に関する討議	

# スポーツ・ヘルスプロモーション方法論 (01EK002)

単位数	1単位	担当教官	山口 香 他
授業時間	2学期 金曜日 7・8時限前半	研究室	東京地区 電話 03-3942-6451 (山口) つくば地区 D-7 電話 029-853-2687 (山口)
授業形態	講義	オフィスアワー	木曜日 17時30分～18時20分
標準履修年次	1・2年次		

**学習目標** スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な研究方法について、学習する。

**授業概要** スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な方法論について概説する。各自の研究計画の実現に向けて、文献や資料のオンライン検索の方法を学ぶ。また、社会調査法の一般的な手順を概説する。さらに、調査や実験データの分析法・検定法などの統計手法について、分析や検定結果の解釈法について文献を用いて理解したり、実際に統計解析ソフトを用いながら理解を深める。

**テキスト** 1) 健康・スポーツ科学のためのやさしい統計学, 出村慎一、山次俊介, 杏林書院  
2) 厚生労働省：臨床研究に関する倫理指針

**参考図書** 1) 山際勇一郎・田中敏, ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法, 教育出版  
2) デズモンド・アレン・石村貞夫, すぐわかる統計用語, 東京図書  
3) 山内光哉, 心理・教育のための分散分析と多重比較, サイエンス社  
4) 統計ソフトSPSSの解説書が、東京図書から多数出版されている

**評価方法** 1. 授業参加の積極性を評価する。  
2. レポートあるいはテストの成績を評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	菊 幸一	研究デザインと方法論	方法、方法論、社会科学
2	宗像 恒次	社会調査法	社会調査法、調査票、サンプリング
3	渡部 厚一	研究倫理について	研究、人権擁護、同意、インフォームド・コンセント、介入、臨床研究、倫理指針、利益相反
4	吉田 章	質的研究	研究の特性、記述的研究、データの収集と分析、データの整理と評価
5	山口 香	文献検索	文献検索、キーワード、先行研究

# スポーツプロモーション論特講 (01EK101)

単位数	2単位	担当教官	菊 幸一
授業時間	1学期 木曜日 7・8時限前半 金曜日 7・8時限後半	研究室	東京地区 電話03-3942-6391 つくば地区 B616 電話029-853-6379
授業形態	講義		
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	木曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** 現代社会におけるスポーツプロモーションの基本理念を理解し、現代スポーツの社会的構造を分析するとともに、スポーツプロモーション政策の課題について学習する。

**授業概要** スポーツの社会的需要・供給関係を軸にした社会的構造・機能モデルに基づいて、現代社会におけるスポーツのポジティブ／ネガティブな作用を分析し、そこからスポーツプロモーションの基本理念を概説する。また、プロフェッショナルスポーツの成立と発展過程を概説し、スポーツプロモーションにおけるその意義と役割について講義する。

**テキスト** 1) 菊幸一他，スポーツプロモーション論，明和出版，2006。  
2) 菊幸一，「近代プロ・スポーツ」の歴史社会学，不味堂出版，1993。

**参考図書** 1) J. ハーグリーブス＜佐伯聰夫，阿部生雄訳＞スポーツ，権力，文化，不味堂出版，1993。  
2) 菊幸一他編，現代スポーツのパースペクティヴ，大修館書店，2006。

**評価方法** 講義中の質疑応答や討論の内容（30%）と最終レポート（70%）によって評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授 業 内 容	キーワード
1~2	菊 幸一	スポーツプロモーション論とは何か	スポーツ 政治 政策 統治・保護 保障・支援
3~4	〃	スポーツプロモーション政策におけるスポーツの捉え方と理念	スポーツ政策 政治課題 生活課題 政策理念
5~6	〃	スポーツ政策の変遷	古代社会 階級社会 近代社会 現代
7~8	〃	現代スポーツの構造と機能（1）～スポーツの自由・政治統制・福祉・公共性～	スポーツの自由 政治統制 福祉 公共性
9~10	〃	〃（2）～スポーツ需要・スポーツ供給・スポーツ体制～	スポーツ需要 スポーツ供給 スポーツ体制
11~12	〃	現代スポーツへの変動	プロフェッショナリズム 近代スポーツ論 高度化
13~14	〃	プロフェッショナルスポーツの成立	文化的成熟 スポーツ思想 経済的制度化
15~16	〃	プロフェッショナルスポーツの発展	社会的条件 スポーツ環境 高度化スポーツの価値
17~18	〃	プロフェッショナリズムとスポーツプロモーション	文化発展と公共的責任 職業と社会貢献
19~20	〃	スポーツプロモーション論の課題	ビジョン 討論 専門性

# 〈集中授業〉スポーツプロモーション論演習 I (01EK102)

単位数 1単位

担当教官 菊 幸一

授業時間 1学期 集中

研究室 東京地区 電話03-3942-6391

授業形態 演習

つくば地区 B616 電話029-853-6379

標準履修年次 1・2年次

オフィスアワー 木曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** グローバル化する世界のスポーツ状況を踏まえながら、これからのスポーツプロモーションにおける基本的な問題を取り上げ、課題を検討し、文化としてのスポーツ論の枠組みからスポーツプロモーションに関する初歩的な問題意識を醸成する。

**授業概要** スポーツプロモーション研究のための初歩的な研究方法論について理解し、文化としてのスポーツ論の枠組みからスポーツプロモーションにかかわる具体的なテーマについて演習する。大きくは、研究方法論レベルにおける理論的アプローチ、実証的アプローチ、文化としてのスポーツのとらえ方とスポーツプロモーションとの関係、現代社会におけるスポーツプロモーションの課題を取り扱う。

**テキスト** 1) 井上 俊他：「スポーツ文化を学ぶ人のために」世界思想社

**参考図書** 1) 多々納秀雄：「スポーツ社会学の理論と調査」不昧堂出版

**評価方法** 1. 分担レポートの発表、課題をめぐる討議等に関する自己評価・相互評価を含めて、総括的に評価する (80%)。

2. スポーツプロモーションに関連した自己研究の動機、目的の明晰性を評価する (20%)。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	菊 幸一	文化としてのスポーツとスポーツプロモーション論の課題	専門性 アマチュアリズム プロフェッショナルイズム
2	〃	スポーツプロモーション研究の方法論 (1) ～理論的アプローチ～	グローバルイズム 文化的アイデンティティ 意味
3	〃	〃 (2) ～実証的アプローチ～	メディア メッセージ メタファー
4	〃	文化としてのスポーツとスポーツプロモーション	スポーツシンボリズム 神話作用
5	〃	現代スポーツの社会性とスポーツプロモーション	メディアストーリー メディアテキスト
6	〃	ナショナリズムとスポーツプロモーション	葬祭競技 祭典競技 奉納競技
7	〃	メディア社会とスポーツプロモーション	ゲームの保護 パトロネージ論
8	〃	ジェンダーとスポーツプロモーション	闘牛の観客とサッカーの観客
9	〃	グローバリゼーションとスポーツプロモーション	生産関係と消費関係 市場 国家資本
10	〃	現代におけるスポーツプロモーションの方法論的課題	公共性 聖性と生産/消費 文化化 スポーツプロモーションの課題と展望

# スポーツプロモーション論演習Ⅱ

## (01EK103)

単位数	2単位	担当教官	菊 幸一
授業時間	2学期 木曜日 7・8時限	研究室	東京地区 電話03-3942-6391
授業形態	演習		つくば地区 B616 電話029-853-6379
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	木曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** グローバル化する世界のスポーツ状況を踏まえながら、これからのスポーツプロモーションにおけるビジョンと課題を検討し、諸外国のスポーツライフスタイルを通じた多様なスポーツライフスタイル構想から、スポーツプロモーションに関する具体的な問題意識を醸成する。

**授業概要** スポーツプロモーション研究のためのビジョンを理解し、諸外国におけるスポーツライフスタイルの特徴と課題、わが国におけるスポーツの組織化をめぐる現状分析と課題について演習する。これらの検討を通じて組織や年齢、バリアフリー、みるスポーツなどの視点から多様なスポーツライフスタイルをインセンティブに構想し、スポーツプロモーションのビジョンと課題をスポーツ享受モデルの開発、施策構想、ライフスタイル・モデルの開発等から取り扱う。

- テキスト**
- 1) 菊 幸一他編, スポーツプロモーション論, 明和出版, 2006.
  - 2) 菊 幸一, 公共性の再構築からみた体育・スポーツのシステム再編に関する研究, 科学研究成果報告書, 2005.
  - 3) 佐伯聰夫他, スポーツ・イベントの展開と地域社会形成, 不昧堂出版, 2000.

**参考図書**

- 1) 佐伯年詩雄ほか「生涯スポーツの振興方策に関する調査研究」日本体育協会スポーツ医・科学研究報告第1報～第3報、2000年～2002年

- 評価方法**
1. 分担レポートの発表, 課題をめぐる討議等に関する自己評価・相互評価を含めて, 総括的に評価する (80%)。
  2. 政策モデルに関するレポートを評価する (20%)。

### 授業計画

回	担当教官	授 業 内 容	キーワード
1~2	菊 幸一	スポーツプロモーション・ビジョンの検討	
3~4	〃	スポーツプロモーションの対象としてのスポーツ	近代スポーツを超えて
5~6	〃	スポーツビジョンづくりの視点と展開	
7~8	〃	諸外国におけるスポーツライフスタイル (1)	ニュージーランド、イギリス
9~10	〃	〃 (2)	ベルギー、ノルウェー
11~12	〃	スポーツ組織の現状分析と課題 (1)	NFの組織化における現状と課題
13~14	〃	〃 (2)	レクリエーションおよび商業関連スポーツ団体
15~16	〃	多様なスポーツライフスタイルの構想 (1)	総合型クラブ、若者
17~18	〃	〃 (2)	バリアフリー、みるスポーツ
19~20	〃	スポーツプロモーション・ビジョンの課題	

# 〈集中授業〉スポーツプロモーション論演習Ⅲ (01EK104)

単位数	1単位	担当教官	菊 幸一
授業時間	3学期 集中	研究室	東京地区 電話03-3942-6391
授業形態	演習		つくば地区 B616 電話029-853-6379
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	木曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** スポーツプロモーションに関する各自の問題意識を反映するテーマについて明確な動機・目的につながる内容を主にメディアスポーツ、スペクテータースポーツ、スポーツの生産と消費の観点から演習し、スポーツプロモーションにおける政策立案モデルを描けるようにする。

**授業概要** 国・地域・団体各レベルのスポーツプロモーション政策の具体的事例を取り上げ、それぞれの歴史・社会・文化的背景との関係からその政策課題を相互比較し、それぞれの特徴と課題を明らかにする。こうして学習されたスポーツプロモーション政策形成の具体的分析能力を基礎に、各自の現職経験に基づくスポーツプロモーション問題を取り上げ、そこに作用する政治課題のベクトルと生活課題のベクトルとをシュミレーションすることによって政策課題を明確にし、政策立案のモデルについて演習する。

**テキスト** 1) 菊幸一他編「現代スポーツのパースペクティヴ」大修館書店、2006年

**参考図書** 1) 山川雄巳「政策過程論」蒼林社出版、1980年

**評価方法** 1. 分担レポートの発表、課題をめぐる討議等に関する自己評価・相互評価を含めて、総括的に評価する(80%)。  
2. スポーツプロモーションに関連する先行研究の検討状況を評価する(20%)。

## 授業計画

回	担当教官	授 業 内 容	キーワード
1	菊 幸一	スポーツプロモーションに対する各自のねらいと 考え方、方法	
2	〃	スポーツの現代化とスポーツプロモーションとの 関係	
3	〃	メディアスポーツ論(1)	メディア、メッセージ、メタファー
4	〃	〃(2)	スポーツシンボリズム、神話作用
5	〃	〃(3)	メディアストーリー、メディアテキスト
6	〃	スペクテータースポーツ論(1)	葬祭競技、祭典競技、奉納競技
7	〃	〃(2)	ゲームの保護、パトロネージ論
8	〃	スポーツの生産と消費(1)	需給関係、市場、国家資本
9	〃	〃(2)	公共性、文化、聖性と生産/消費
10	〃	各自の政策立案モデルの提示と議論	

# 〈集中授業〉 スポーツプロモーション論実習 (O1EK105)

単位数 1単位

担当教官 菊 幸一

授業時間 集中

研究室 東京地区 電話03-3942-6391

授業形態 実習

つくば地区 B616 電話029-853-6379

標準履修年次 1・2年次

オフィスアワー 木曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** 学生の現職経験から導かれるスポーツプロモーション問題を政策科学の視点から課題化し、各自が対象とする具体的な組織や関連イベントにかかわるスポーツプロモーションの現状と課題について明らかにしたことを発表する。

**授業概要** 民間スポーツ組織（各種目別協会／連盟・体協・JOC・スポーツNPO など）、スポーツ行政組織（国・地方公共団体）あるいは各地域において企画されたスポーツ関連イベント（伝統的な祭礼行事でもよい）への実際の調査やスポーツプロモーションに関する組織的な企画・立案をめぐる調査の結果に基づいて、スポーツプロモーションの目的・方法・評価等について実態（歴史的経緯や現況）を明らかにするとともに、その課題や問題点等についてレポートし、発表を行う。

**テキスト** 1) 佐伯聡夫他，スポーツイベントの展開と地域社会形成，不昧堂出版，2000.

**参考図書** 1) 厨義弘他，地域スポーツの創造と展開，大修館書店，1990.

**評価方法** 1. 分担レポートの内容や発表，課題をめぐる討議等に関する自己評価・相互評価を含めて，総括的に評価する（80％）。  
2. 学位論文作成の基礎資料として価値を評価する（20％）。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1~2	菊 幸一	スポーツプロモーション実習の目的・方法・対象	
3~4	〃	対象の選定と理由の検討（1）	
5~6	〃	〃（2）	
7~8	〃	調査対象に対する実習計画の検討とシミュレーション（1）	
9~10	〃	〃（2）	
11~12	〃	〃（3）	
13~14	〃	〃（4）	
15~16	〃	〃（5）	
17~18	〃	実習成果の発表内容に関するグループワーク	
19~20	〃	実習成果の発表と議論	

# スポーツイベント論特講 (01EK106)

単位数	2単位	担当教官	高橋義雄
授業時間	2学期 金曜日 7・8時限後半 集中2日間	研究室	東京地区 電話03-3942-6390 つくば地区 D-7 電話029-853-2659
授業形態	講義		
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	水曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** スポーツプロモーションにおけるスポーツイベントの理念と意義を理解するとともに、スポーツイベントと地域形成、現代社会におけるスポーツイベント政策、プロフェッショナルスポーツの発展過程などについて、その歴史社会的な意味や現代的機能を探究する。

## 授業概要

### テキスト

1) 菊 幸一：「近代プロ・スポーツ」の歴史社会学，不昧堂出版

### 参考図書

- 2) 佐伯聰夫ほか：スポーツ・イベントの展開と地域社会形成，不昧堂出版  
3) 松村和則ほか：メガ・スポーツイベントの社会学，南窓社  
4) 橋本純一ほか：現代メディアスポーツ論，世界思想社  
5) 小笠原正監修：導入対話によるスポーツ法学，不磨書房  
6) 原田宗彦ほか：スポーツ産業論第4版，杏林書院

### 評価方法

1. わが国におけるスポーツイベントの社会的役割についてレポートし、発表する。  
2. 講義内容の知識をもとに、諸外国を含めた身近なスポーツイベントをさまざまな角度から分析し、ディスカッションする。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	高橋義雄	スポーツイベントとは	イベント，概念
2	〃	スポーツイベントの理念と意義	理念，意義
3	〃	前近代とスポーツイベント	前近代
4	〃	近・現代とスポーツイベント	近代，現代
5	〃	地域形成とスポーツイベント（1）	地域形成，日本
6	〃	〃（2）	地域形成，ヨーロッパ
7	〃	経済からみたスポーツイベント（1）	経済，戦後日本
8	〃	〃（2）	メディア，グローバル化
9	〃	スポーツ組織とスポーツイベント（1）	民間組織
10	〃	〃（2）	官・産組織
11	〃	スポーツイベント政策の社会的役割（1）	政策，公共性，効果
12	〃	〃（2）	〃
13	〃	スポーツの制度化とイベント（1）	制度化，理論的枠組み
14	〃	〃（2）	野球，戦前，日本
15	〃	プロ・スポーツの発展過程（1）	〃
16	〃	〃（2）	〃
17	〃	〃（3）	サッカー，Jリーグ
18	〃	〃（4）	〃
19	〃	現代社会におけるスポーツイベント再考	現代社会，再考
20	〃	近未来の社会像とスポーツイベント	近未来，総括



# 〈集中授業〉スポーツイベント論演習Ⅰ (01EK107)

単位数 1単位

担当教官 高橋義雄

授業時間 1学期 集中

研究室 東京地区 電話 03-3942-6390

授業形態 演習

つくば地区 D-7 電話 029-853-2659

標準履修年次 1・2年次

オフィスアワー 水曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** スポーツイベントにかかわる各自の研究関心に沿って、研究方法を学ぶ。先行研究を取り上げ、その研究手法を学ぶとともに、すでに解明された知見を理解する。国際、国、地域、各レベルにおけるスポーツイベントの事例を取り上げ、現代的な課題を演習する。

**授業概要** 各回のテーマに沿って講義し、それに基づいて学生も参加した議論を行う。

**テキスト** 特になし

- 参考図書**
- 1) 井上俊ほか：スポーツ文化を学ぶ人のために，世界思想社
  - 2) 学会誌（「体育学研究」、「スポーツ社会学研究」、「スポーツ産業学研究」等）
  - 3) ロバートK. イン：ケース・スタディの方法，千倉書房
  - 4) 酒井隆：アンケート調査の進め方，日本経済新聞出版社
  - 5) 藤本隆宏ほか：リサーチ・マインド 経営学研究法，有斐閣

- 評価方法**
1. 分担レポートの発表内容および授業を通じた議論の深まりについて評価する。
  2. 先行研究に関する検討を通じた自らのテーマと方法論に関する明晰性について評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	高橋義雄	論文の形式と読解について	演習，ねらい，方法 論文，形式，社会科学，理論，概念，整合性
2	〃	自己課題の発表と先行研究の分析（1）	自己課題，先行研究 分析の枠組み，仮説
3	〃	〃（2）	批判，新たな課題の導出
4	〃	ケース・スタディと自己課題（1）	リサーチ戦略，ケース・スタディの設計 データ収集の方法，トライアングレーション
5	〃	〃（2）	データの分析，レポート作成，論文作成
6	〃	ケース・スタディの先行研究（1）	エスノグラフィー，サブカルチャー
7	〃	〃（2）	
8	〃	歴史社会学的手法と自己課題（1）	社会史，歴史社会学，史料
9	〃	〃（2）	
10	〃	アンケート調査と自己課題	サンプリング，集計作業 データ解析，統計

# 〈集中授業〉スポーツイベント論演習Ⅱ (01EK108)

単位数	1単位	担当教官	高橋義雄
授業時間	2学期 集中	研究室	東京地区 電話 03-3942-6390
授業形態	演習		つくば地区 D-7 電話 029-853-2659
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	水曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** スポーツイベントにかかわる各自の研究関心に沿って、経営学分野特に、イノベーション研究を取り上げ、その課題を演習する。国際、国、地域、各レベルにおけるスポーツイベントの事例を取り上げ、その社会的な構造と機能を理解しながら課題を演習する。

**授業概要** 各回のテーマに沿って講義し、それに基づいて学生も参加した議論を行う。

**テキスト** 特になし。

- 参考図書**
- 1) 原田宗彦ほか：「スポーツマーケティング」, 大修館書店
  - 2) 武藤泰明：「プロスポーツクラブのマネジメント」, 東洋経済新報社
  - 3) クレイトン・クリステンセンほか：「イノベーションへの解」, 翔泳社
  - 4) W・チャン・キムほか：「ブルー・オーシャン戦略」, ランダムハウス講談社
  - 5) フランス・ヨハンソン：「メディチ・インパクト」, ランダムハウス講談社

- 評価方法**
1. 分担レポートの発表内容および授業を通じた議論の深まりについて評価する。
  2. 先行研究に関する検討を通じた自らのテーマと方法論に関する明晰性について評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	高橋義雄	学習のねらいと方法について	演習, ねらい, 方法 概念, 環境
2	〃	イノベーション研究	(1) 成長, 競合, 顧客
3	〃	〃	(2) コモディティティ
4	〃	〃	(3) 戦略策定, 資源配分
5	〃	〃	(4) 破壊的イノベーション 持続的イノベーション
6	〃	〃	(5)
7	〃	スポーツ界におけるイノベーション	(1) Jリーグ, プロ化 Bjリーグ, ストリートバスケット
8	〃	〃	(2) 球界再編
9	〃	プロスポーツクラブのマネジメント	(1) 法人格, 財務, 組織 マーケティング
10	〃	〃	(2) 無体財産

# スポーツイベント論演習Ⅲ (01EK109)

単位数	2単位	担当教官	高橋義雄
授業時間	3学期 火曜日 7・8時限	研究室	東京地区 電話 03-3942-6390
授業形態	演習		つくば地区 D-7 電話 029-853-2659
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	水曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** スポーツイベントにかかわる各自の研究関心に沿って、適切な研究方法を選択し、先行研究を取り上げて各自の研究について演習する。スポーツイベント論実習と平行して行い、実習の事例を取り上げ、その社会的な構造と機能を理解しながら課題を演習する。

**授業概要** 各回のテーマに沿って講義し、それに基づいて学生も参加した議論を行う。

**テキスト** 特になし。

**参考図書** 1) M. E. ポーター：「競争の戦略」、ダイヤモンド社  
2) P. コトラー、A. R. アンドリーセン：「非営利組織のマーケティング戦略」  
3) 近藤隆雄：「サービスマネジメント入門」

**評価方法** 1. 分担レポートの発表内容および授業を通じた議論の深まりについて評価する。  
2. 先行研究に関する検討を通じた自らのテーマと方法論に関する明晰性について評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	高橋義雄	学習のねらいと方法について	演習, ねらい, 方法
2	〃	研究対象の設定	ブレインストーミング技法
3	〃	先行研究の分析	KJ法
4	〃	研究方法の検討と妥当性	文献検索
5	〃	調査データの収集と分析	フィールドワーク
6	〃	報告方法の演習と中間報告	ヒアリング, アンケート調査, SPSS
7	〃	文献の抄読 (1)	競争戦略
8	〃	文献の抄読 (2)	
9	〃	文献の抄読 (3)	非営利組織
10	〃	文献の抄読 (4)	
11	〃	文献の抄読 (5)	サービスマネジメント
12	〃	文献の抄読 (6)	
13	〃	文献の抄読 (7)	イノベーション
14	〃	文献の抄読 (8)	
15	〃	文献の抄読 (9)	ブルーオーシャン戦略
16	〃	文献の抄読 (10)	
17	〃	文献の抄読 (11)	スポーツマネジメント
18	〃	文献の抄読 (12)	
19	〃	文献の抄読 (13)	スポーツマーケティング
20	〃	文献の抄読 (14)	

# 〈集中授業〉スポーツイベント論実習 (01EK110)

単位数	1単位	担当教官	高橋義雄
授業時間	1～3学期 集中	研究室	東京地区 電話 03-3942-6390
授業形態	実習		つくば地区 D-7 電話 029-853-2659
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	水曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** スポーツイベント論演習で学んだスポーツイベントにかかわる研究方法を採用し、その研究手法で指定されたスポーツイベントを調査する。フィールド調査、アンケート調査など研究グループを結成し、調査プロジェクト実施方法を学ぶ。

**授業概要** 学生主体に調査対象を選定し、適切な方法を検討して、調査を実施する。その結果をまとめ、プレゼンテーション、報告書を作成する。研究の一連の作業を理解できるように教員は助言する。

**テキスト** 特になし

**参考図書** 特になし

**評価方法** 1. プロジェクトでの役割およびプロジェクト実施を通じた議論の深まりについて評価する。  
2. 調査設計から報告に至る一連の作業について評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	高橋義雄	実習対象の選定	
2	〃	作業仮説の設定、調査方法の選定・準備	作業仮説、先行研究、研究倫理
3	〃	調査実習 (1)	
4	〃	〃 (2)	
5	〃	〃 (3)	
6	〃	実査集計と報告書 (1)	
7	〃	〃 (2)	
8	〃	〃 (3)	
9	〃	プレゼンテーション方法・準備	
10	〃	報告会	

# スポーツプロモーション研究方法論 (O1EK111)

単位数 3単位

担当教官 菊 幸一・高橋義雄

授業時間 1～3学期 集中

研究室 東京地区 電話03-3942-6391

授業形態 演習

つくば地区 E616 電話029-853-6379

標準履修年次 2年次

オフィスアワー 木曜日 16時～17時

**学習目標** スポーツプロモーションに関する研究方法論について、その視角、課題について理解し、実証的な視点から検討して修士論文あるいは特定課題研究報告書の作成を導く。

**授業概要** 学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、政策科学的視点からその存立状況を構造的に分析することによって、スポーツプロモーションの専門研究に向けた課題化を行う。また、明確化された専門課題研究を現職経験状況にフィードバックし、実践的課題解決の可能性と限界を明らかにし、課題解決に対応する専門研究の研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文あるいは特定課題研究報告書の作成を導く。

**テキスト** 1) 菊 幸一他「大正期におけるプロフェッショナル・イデオロギーの萌芽に関する研究」体育学研究、37：1-14、1992.

**参考図書** 1) 多々納秀雄，スポーツ社会学の理論と調査，不昧堂出版，1997.  
2) 佐伯年詩雄，現代企業スポーツ論，不昧堂出版，2004.  
3) 佐伯年詩雄他，生涯スポーツの振興方策に関する調査研究報告書Ⅰ～Ⅲ，日本体育協会，2000～2002.

**評価方法** 1. 修士論文あるいは特定課題研究報告書における研究方法論としての充実度を評価する（50%）。  
2. 学位論文中間発表会への参加状況（終日参加）とそこでの発表ならびに質疑応答の内容を評価する（50%）。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1～2	菊・高橋	スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた視角	(1) 公共性、政策、政治課題
3～4	〃	〃	(2) 私的自由、生活課題、共同体
5～6	〃	〃	(3) 文化、身体、健康、体力
7～8	〃	スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた課題	(1) 労働・体力政策課題
9～10	〃	〃	(2) 文化・レジャー政策課題
11～12	〃	実践的研究事例 (1)	量的データ、質的データ
13～14	〃	〃 (2)	エスノメソドロジー、モノグラフ記述
15～16	〃	〃 (3)	歴史社会学的、文化社会学的
17～18	〃	〃 (4)	経済学的、経営学的
19～20	〃	〃 (5)	問題発見型、課題解決型、提案・問題解決型

# スポーツマネジメント論特講 (01EK201)

単位数	2単位	担当教官	吉田 章
授業時間	1学期 火曜日 7・8時限後半 集中2日間	研究室	東京地区 電話03-3942-6450 つくば地区 A406 電話029-853-6334
授業形態	講義		
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	土曜日 17時～18時30分

**学習目標** 現代社会におけるスポーツ愛好者の組織化の重要性を理解し、組織編成の方法論とその効果的な運営について、主としてマネジメントの基礎理論に照らし合わせながら解説し、多様な現代的政策課題の具体的実現のための操作的方法論について学習する。

**授業概要** 社会変化・生活変容を背景としながら増加の傾向を続けるスポーツ愛好者の組織化の重要性と課題について概説する。そして、スポーツ組織の中核としてのクラブマネジメントとともに、台頭する野外スポーツに注目し、その緩やかな組織化としてのネットワーク編成や事業構造ならびにリスクマネジメントについて解説する。特に競技会制度と関連して発展してきた選手養成・運動部型マネジメントとは異なる市民型クラブマネジメントの課題と方法論について講義する。

**テキスト** 1) 佐伯聰夫：現代スポーツの社会学，不昧堂出版  
2) 松浦義行編：スポーツの科学，朝倉書店  
3) Richard Kraus: Recreation and Leisure in Modern Society, Jones & Bartlett

**参考図書** 1) 日本スポーツ学会監修、スポーツ指導・実務ハンドブック、道和書院，2010

**評価方法** 1. 授業参加の積極性を評価する。  
2. レポートあるいはテストの成績を評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1～2	吉田 章	マネジメントの基礎理論	近代スポーツ マネジメントと事業経営
3～4	〃	現代スポーツ状況と組織的展開	大衆化 高度化 アイデンティティ 公共性
5～6	〃	競技スポーツのシステムとマネジメント	競技力 組織・団体 戦略 選手発掘 コーチング
7～8	〃	生涯スポーツのシステムとマネジメント	Sports for All 組織・団体 施設 指導者 地域
9～10	〃	学校スポーツのシステムとマネジメント	体育科教育 課外活動 教師 組織・団体 学校行事
11～12	〃	野外スポーツのシステムとマネジメント	自然環境 アドベンチャー 制度・資格 エコスポーツ
13～14	〃	スポーツにおけるマネジメントの体系化	スポーツ事業の企画 運営 評価
15～16	〃	教育活動としてのスポーツマネジメント	学校体育 社会体育 生活体育
17～18	〃	情報活動としてのスポーツマネジメント	メディア IT 情報戦略 情報産業 プロモーション
19～20	〃	経済活動としてのスポーツマネジメント 各種マネジメント方策についての討議と発表	プロ アマ 産業 経済価値 マーケティング

# 〈集中授業〉野外スポーツマネジメント論演習 I (O1EK202)

単位数	1単位	担当教官	吉田 章
授業時間	1学期 集中	研究室	東京地区 電話03-3942-6450
授業形態	演習	つくば地区	A406 電話029-853-6334
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	土曜日 17時～18時30分

**学習目標** 内外の各種野外スポーツおよび自然体験活動の具体的な実践場面を題材とし、企画・運営・指導・評価の観点から、各種野外スポーツのプロモーションとマネジメントについての実践的な知識と技能をそして指導力を高める。

**授業概要** 各種の野外スポーツ現象を自然・物理的環境と社会・文化的環境の中において生ずるシステマ的現象としてとらえ、そこにおける適合・調和と不適合・不調和の条件・要素関係を分析することにより、野外スポーツマネジメントの方法論についての理解を促す。この方法論に基づき、野外スポーツ享受の最大化とリスクマネジメントを中心として、実践的な野外スポーツの展開に必要な効果的なマネジメントのシュミレーションを行う。1学期に開講する演習 I では、主としてエコツーリズム・スポーツツーリズムをベースとした自然体験をテーマとし、その総合的な展開について検討する。

**テキスト** 1) 江橋慎四郎、野外教育、体育の科学社  
2) 体育・スポーツ事故責任・安全対策質疑応答集、ぎょうせい  
3) Clayne R. Jensen、Outdoor Recreation in America、Burgess Publishing Company

**参考図書** 1) スー・ビートン著、エコツーリズム教本、平凡社、2002。

**評価方法** 1. 出席状況（主体的関与）および課題レポートによって総合的に評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授 業 内 容	キーワード
1	吉田 章	オリエンテーション	プログラミング、マネジメント、プロモーション
2	〃	野外スポーツの実際	山岳スポーツ、海洋スポーツ、フィールドスポーツ
3	〃	エコツーリズムの実際	キャンプ、トレッキング、創作活動、自然教室
4	〃	冒険プログラムの実際	OBS、ABE、セイルトレーニング、サバイバル
5	〃	環境プログラムの実際	ビオトープ、ネイチャーゲーム、国立公園、博物館
6	〃	療育プログラムの実際	キャンプセラピー、アニマルセラピー、ウェルネス
7	〃	教育プログラムの実際	野外教育、自然教育、社会教育、人間教育、文化教育
8	〃	組織経営の実際	人、物、金、情報、法人組織、NPO、政策経営
9	〃	野外スポーツと自然体験活動	企画、運営、プロモーション、事業評価
10	〃	課題報告・発表 まとめと評価	インディビジュアルスタディー マネジメントスキル、プロモーションタクティクス

# 野外スポーツマネジメント論演習Ⅱ (01EK203)

単位数	2単位	担当教官	吉田 章
授業時間	2学期 水曜日7・8時限	研究室	東京地区 電話03-3942-6450
授業形態	演習	つくば地区	A406 電話029-853-6334
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	土曜日 17時～18時30分

**学習目標** 内外の各種野外スポーツおよび自然体験活動の具体的な実践場面を題材とし、企画・運営・指導・評価の観点から、各種野外スポーツのプロモーションとマネジメントについての実践的な知識と技能そして指導力を高めるとともに研究技法を学習する。

**授業概要** 各種の野外スポーツ現象を自然・物理的環境と社会・文化的環境の中において生ずるシステムの現象としてとらえ、そこにおける適合・調和と不適合・不調和の条件・要素関係を分析することにより、野外スポーツマネジメントの方法論についての理解を促す。この方法論に基づき、野外スポーツ享受の最大化とリスクマネジメントを中心として、実践的な野外スポーツの展開に必要な効果的なマネジメントのシュミレーションを行う。2学期に開講する演習Ⅱでは、主として水辺活動をベースとした自然体験をテーマとし、その総合的な展開について検討する。

**テキスト** 1) 江橋慎四郎監訳、海のスポーツ百科、ベースボールマガジン社  
2) Neil J.Dougherty、Outdoor Recreation Safety Human Kinetics  
3) Paul G. Gill、Water Lover's Guide to Marine Medicine、Fireside Book

**参考図書** 1) 竹谷和之、ジャックマイヨールの遺産、叢文社、2007。

**評価方法** 1. 出席状況（主体的関与）および課題レポートによって総合的に評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授 業 内 容	キーワード
1～2	吉田 章	オリエンテーション	ツーリズム
3～4	〃	水辺型野外スポーツの実際	リスクマネジメント
5～6	〃	水辺型野外スポーツの普及と発展	山ガール 海ガール
7～8	〃	学校教育における水辺型野外スポーツ	総合学習
9～10	〃	レジャー活動としての水辺型野外スポーツ	マリンスポーツ ビーチスポーツ
11～12	〃	ダイビング型水辺型野外スポーツ	スキューバ スキンダイビング スノーケリング
13～14	〃	セーリング型水辺型野外スポーツ	ヨット セーリング
15～16	〃	水辺型野外スポーツのリスクマネジメント	安全管理 危機管理
17～18	〃	水辺型野外スポーツの総合的展開	ビーチイベント グルーツーリズム
19～20	〃	課題報告・発表	将来展望
		まとめと評価	



# 〈集中授業〉野外スポーツマネジメント論演習Ⅲ (01EK204)

単位数 1単位

担当教官 吉田 章

授業時間 3学期 集中

研究室 東京地区 電話03-3942-6450

授業形態 演習

つくば地区 A406 電話029-853-6334

標準履修年次 1・2年次

オフィスアワー 土曜日 17時～18時30分

**学習目標** 内外の各種野外スポーツおよび自然体験活動の具体的な実践場面を題材とし、企画・運営・指導・評価の観点から、各種野外スポーツのプロモーションとマネジメントについての実践的な知識と技能そして指導力を高める。

**授業概要** 各種の野外スポーツ現象を自然・物理的環境と社会・文化的環境の中において生ずるシステムの現象としてとらえ、そこにおける適合・調和と不適合・不調和の条件・要素関係を分析することにより、野外スポーツマネジメントの方法論についての理解を促す。この方法論に基づき、野外スポーツ享受の最大化とリスクマネジメントを中心として、実践的な野外スポーツの展開に必要な効果的なマネジメントのシュミレーションを行う。3学期に開講する演習Ⅲでは、主としてスキー・雪上・山岳活動をベースとした自然体験をテーマとし、その総合的な展開について検討する。

**テキスト** 1) チクセントミハイ (今村浩明他訳)、スポーツを楽しむ、世界思想社、2005。  
2) Thomas Alexander, John Dewey's Theory of Art, Experience & Nature, State Univ. of N.Y. Press  
3) John L. Luckner, Processing the Experience, Kendall / Hunt Publishing Company

**参考図書** 1)

**評価方法** 1. 出席状況 (主体的関与) および課題レポートによって総合的に評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	吉田 章	オリエンテーション	研究的視点
2	〃	スキー・雪上活動の実際	スポーツ レジャー 学習 生活
3	〃	スキー・雪上活動の普及と発展	スキー人口 スキー産業
4	〃	山岳活動の実際	トレッキング 高所登山
5	〃	山岳活動の普及と発展	百名山 観光登山 宗教登山
6	〃	各種野外スポーツと環境問題	ESD ミニマムインパクト Leave no Trace
7	〃	各種野外スポーツとリスクマネジメント	事故と安全 法律と裁判
8	〃	各種野外スポーツと文献	紀行文学
9	〃	各種野外スポーツと研究活動	開発と挑戦
10	〃	課題報告・発表 まとめと評価	実践レポート

# 〈集中授業〉 野外スポーツマネジメント論実習 (01EK205)

単位数	1単位	担当教官	吉田 章
授業時間	1・2学期 集中	研究室	東京地区 電話03-3942-6450
授業形態	実習		つくば地区 A406 電話029-853-6334
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	土曜日 17時～18時30分

**学習目標** 各種野外スポーツに関する実践例について実習を通して学習するとともに、広く市民が親しみを持ち、身近かに活動を楽しめる状況を作り出す上でのシステムの在り方やマネジメントの方法について検討し、それらをデザインしプロモーションする能力を高める。

**授業概要** 学生自身の現職経験や野外スポーツ体験から導かれる市民クラブや野外スポーツに関わる組織化問題について、関連資源の未整備・未開発およびシステムの不整合の視点から分析し、システムマネジメントの課題としてとらえ直す。それに基づいて、課題解決のために必要な資源整備・開発及び整合的システムをシュミレーションし、マネジメントモデルをデザインする。このモデルに基づいて、市民スポーツ及び野外スポーツ愛好者組織化マネジメントの具体例をデザインする。

**テキスト** 1) Joseph J. Bannon, Problem Solving in Recreation and Parks, Prentice Hall Inc.  
2) Christopher C. Roland, Do it and Understand, Kendall/Hunt Publishing Company

**参考図書** 1)

**評価方法** 1. 授業参加の積極性を評価する。  
2. レポートあるいはテストの成績を評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
	吉田 章	事前学習：実習オリエンテーション 実習課題の設定	
		集中実習：野外スポーツ実習 現地4泊5日間	
		事後学習：まとめと評価 マネジメントモデルの発表	
		実習1：バリアフリーダイビング大会 沖縄本島（6月下旬）	
		実習2：マリニックin沖縄 沖縄本島（10月下旬）	
		その他：夏期休業中の自然体験事業	

# 高度競技マネジメント論特講 (01EK206)

単位数	2単位	担当教官	山口 香
授業時間	2学期 木曜日 7・8時限前半 集中2日間	研究室	東京地区 電話 03-3942-6451 つくば地区 D11 電話 029-853-2687
授業形態	講義		
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	木曜日 17時半～18時20分

**学習目標** 国際競技力開発の理念としてのスポーツ・プロフェッショナルリズムの重要性およびシステム編成に必要な資源評価・査定・開発とそのシステムマネジメントの課題と方法論について理解する

## 授業概要

**テキスト** 特になし。必要に応じて資料を配布する。

**参考図書** 1) ジェラルド・ウリエ, ジャック・クルボアジェ著「フランスサッカーのプロフェッショナル・コーチング」(大修館書店)  
2) 河野一郎監修・勝田 隆著「知的コーチングのすすめ」(大修館書店)

**評価方法** 出席及びレポート・テストの総合評価

## 授業計画

回	担当教官	授 業 内 容	キーワード
1	山口香	ガイダンス	
2	〃	総合戦略	マネジメント, ストラテジー
3	〃	情報戦略	JISS
4	〃	組織のあり方	組織構造, 機能
5	〃	Team behind the team	医科学サポート, 栄養, ドーピング
6	〃	リスクマネジメント	国際大会, オリンピック
7	〃	大会のマネジメント	役割分担, 情報収集・管理
8	〃	メディアマネジメント	メディアコントロール
9	〃	ナショナルトレーニングセンター (1)	合宿, 国際交流
10	〃	(2)	エリートスクール, 指導者養成
11	〃	タレント発掘と一貫指導 (1)	タレント, 地域の取り組み
12	〃	(2)	指導理念の共有, 種目転向
13	〃	コーチングとは	コーチング, 理念
14	〃	一流プレイヤーの特徴	理解, 信頼関係
15	〃	選手に対するマネジメント	管理, 教育
16	〃	モチベーション・コントロール	目標設定, 選手選考
17	〃	コーチに必要な資質	公平性, 伝達能力, 探究心, ネットワーク
18	〃	コミュニケーションスキル	ネットワーク, 社交性, 国際性
19	〃	キャリア教育の重要性	セカンドキャリア
20	〃	テスト	

# <集中授業>高度競技マネジメント論演習 I (01EK207)

単位数 1単位

担当教官 山口 香

授業時間 1学期 集中

研究室 東京地区 電話 03-3942-6451

授業形態 演習

つくば地区 D11 電話 029-853-2687

標準履修年次 1・2年次

オフィスアワー 水曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** 国際競技大会において競技者の最高パフォーマンスを発揮させるために必要なマネジメントの実践的な課題を、国際・国内スポーツ組織論、情報戦略論、競技パフォーマンス分析論、競技者及びチームマネジメント論、メディアマネジメント論、スポンサー対応論等の総合的戦略として理解させ、オリンピック競技大会や国際競技大会等の具体的事例に対応する国際競技スポーツマネジメントのシミュレーションを行う。

## 授業概要

**テキスト** 特になし。必要な資料をその都度配布する。

## 参考図書

**評価方法** 平常点およびレポートあるいはテストの成績を総合評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	山口香	オリエンテーション	
2	〃	機能する組織	組織構造, 事務組織, 委員会
3	〃	組織論の発表と討議	
4	〃	強化計画(長期、中期、短期)	予算, 合宿, スケジュールリング
5	〃	強化計画の発表と討議	
6	〃	JISSとNTCの活用	情報戦略, トレーニング, 合宿, 技術分析
7	〃	JISSとNTCの活用法について発表と討議	
8	〃	タレント発掘と一貫指導	指導理念, 連携, 選手選考, 育成, 強化
9	〃	タレント発掘と一貫指導について発表と討議	
10	〃	まとめ	

# 〈集中授業〉高度競技マネジメント論演習Ⅱ (01EK208)

単位数	1単位	担当教官	山口 香
授業時間	2学期 集中	研究室	東京地区 電話 03-3942-6451
授業形態	演習		つくば地区D11 電話 029-853-2687
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	水曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** オリンピックにおいて競技者の最高パフォーマンスを発揮させるために必要なマネジメントの実践的な課題を、国際・国内スポーツ組織論、情報戦略論、競技パフォーマンス分析論、競技者及びチームマネジメント論、メディアマネジメント論等の総合的戦略として理解する。

## 授業概要

**テキスト** 特になし。必要な資料をその都度配布する。

## 参考図書

**評価方法** 平常点およびレポートあるいはテストの成績を総合評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	山口香	オリエンテーション	
2	〃	オリンピックにおける強化計画	ジュニア, シニア, 合宿, スケジュール
3	〃	強化計画に関する発表と討議	
4	〃	オリンピックにおける情報戦略	情報収集, 現地視察, サポート
5	〃	情報戦略に関する発表と討議	
6	〃	オリンピックの選手選考	選考会, ランキング, 実績の評価
7	〃	選手選考に関する発表と討議	
8	〃	オリンピックにおける大会のマネジメント	選手村, 村外との連携, 情報管理
9	〃	大会のマネジメントにおける発表と討議	
10	〃	まとめ	

# 高度競技マネジメント論演習Ⅲ (01EK209)

単位数	2単位	担当教官	山口 香
授業時間	3学期 木曜日 7・8時限	研究室	東京地区 電話03-3942-6451
授業形態	演習		つくば地区 D11 電話029-853-2687
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	水曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** 国際競技大会において競技者の最高パフォーマンスを発揮させるために必要なコーチングの実践的な課題を、国際・国内スポーツ組織論、情報戦略論、競技パフォーマンス分析論、競技者及びチームマネジメント論等の総合的戦略として理解する。

## 授業概要

**テキスト** 必要な資料をその都度配布する。

## 参考図書

**評価方法** 平常点およびレポートあるいはテストの成績を総合評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	山口香	オリエンテーション	
2	〃	目標設定とモチベーション	目標設定の意義, 評価と分析
3	〃	目標設定について発表と討議	
4	〃	コーチの資質	コミュニケーション能力, 技術分析, 伝達能力
5	〃	コーチの資質について発表と討議	
6	〃	大会におけるコーチング	情報管理, 声かけ, 対応力
7	〃	大会におけるコーチングについて発表と討議	
8	〃	ネットワークと情報収集	情報収集力, ネットワーク, 国際性
9	〃	ネットワークと情報収集について発表と討議	
10	〃	まとめ	

# 〈集中授業〉高度競技マネジメント論実習 (O1EK210)

単位数	1単位	担当教官	山口 香・( )
授業時間	1～3学期 集中	研究室	東京地区 電話 03-3942-6451
授業形態	実習		つくば地区 D11 電話 029-853-2687
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	木曜日 17時30分～18時20分

**学習目標** 学生の現職経験から導かれる国際競技大会における具体的な成功事例や失敗事例等を競技力開発と総合戦略の視点から捉え直し、そこにおける国際競技マネジメントの具体的な課題を明らかにする。そして、現職経験との関係からみた課題解決のために必要な資源評価・査定・開発及びシステム編成のモデルをデザインし、そのモデルと現職経験の比較検討を通して、具体的な課題解決に向けたマネジメント戦略をシミュレーションすることを目標とする。

## 授業概要

**テキスト** 1)

**参考図書** 1)

**評価方法** 1. 実際に体験した事例を各自がまとめ、プレゼンテーションを行う。内容とプレゼンテーション能力を評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	山口・田嶋	ディスカッション (1)	プラクティカルマネジメント
2	〃	〃 (2)	ケーススタディ, プレゼンテーション
3	〃	〃 (3)	フィールド・ワーク
4	〃	〃 (4)	
5	〃	〃 (5)	
6	〃	〃 (6)	
7	〃	〃 (7)	
8	〃	〃 (8)	
9	〃	〃 (9)	
10	〃	〃 (10)	
11	〃	〃 (11)	
12	〃	〃 (12)	
13	〃	〃 (13)	
14	〃	〃 (14)	
15	〃	〃 (15)	
16	〃	〃 (16)	
17	〃	〃 (17)	
18	〃	〃 (18)	
19	〃	〃 (19)	
20	〃	〃 (20)	

# スポーツマネジメント研究方法論 (O1EK211)

単位数 3単位

担当教官 吉田 章・山口 香

授業時間 1～3学期 集中

研究室 東京地区 電話03-3942-6450

授業形態 演習

つくば地区 B406 電話029-853-6334

標準履修年次 2年次

オフィスアワー

**学習目標** 現職としてのフィールドを最大限に生かした上での課題意識を明確にし、それらを合理的・客観的に解決するための科学的技法について学習するとともに、成果をまとめあげて公表するまでの一連のプロセスを習得し、研究的視野と技法を身につけた高度専門職としての能力を高める。

**授業概要** 学生自身の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、経営科学の視点からその存立状況を体系的に分析することによって、専門的研究課題として洗練する。さらに、明確化された専門課題研究を現職経験状況にフィードバックし、実践的課題解決の可能性と限界を明らかにし、課題解決に対応する専門的研究としての研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文あるいは特定課題研究報告書としての作成に導く。

**テキスト** 1) David H. Clarke、Research Processes in Physical Education, Recreation, and Health、Prentice Hall  
2) Jerry R. Thomas、Introduction to Research in Health, PE, Recreation and Dance, Human Kinetics

**参考図書** 1)

**評価方法** 1. 授業参加の積極性を評価する。  
2. レポートあるいはテストの成績を評価する。  
3. 学位論文中間発表会への参加状況(終日参加)とそこでの発表ならびに質疑応答の内容を評価する(50%)。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1～2	吉田・山口	研究活動としての特質	
3～4	〃	研究の進め方	
5～6	〃	文献の調査と収集	
7～8	〃	定量的研究	
9～10	〃	定性的研究	
11～12	〃	課題設定	
13～14	〃	データの収集	
15～16	〃	データの整理	
17～18	〃	考察のしかた	
19～20	〃	研究のまとめかた 研究発表の方法	



# コミュニティスポーツプロモーション論特講 (01EK301) 本年度開講せず

単位数	1単位	担当教官	柳沢和雄
授業時間	3学期 金曜日 7・8時限後半	研究室	東京地区
授業形態	講義		つくば地区 B605 電話029-853-6365
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	火曜日 15時～17時

**学習目標** 市区町村におけるスポーツ振興策の経緯と地域スポーツ経営の考え方を理解するとともに、総合型地域スポーツクラブ政策をとおしてコミュニティスポーツの推進課題について講義する。

**授業概要** 我が国におけるコミュニティスポーツの歴史を概観し、現代社会におけるその重要な社会的役割を概説する。特に、政策的に推進されている総合型地域スポーツクラブを取り上げ、その展開過程や経営課題を概観する。また、総合型地域スポーツクラブを題材にしながら、公共スポーツ施設の整備と経営の考え方、指導者養成をめぐる制度的課題、ボランティア論、スポーツと市民社会論などについて講義する。

## テキスト

- 参考図書**
- 1) 柳沢和雄, 向陽スポーツ文化クラブ編, 総合型地域スポーツクラブの発展と展望 (不昧堂出版)
  - 2) 八代 勉, 向陽スポーツ文化クラブ編, コミュニティ・クラブと社会的ネットワーク (不昧堂出版)
  - 3) 八代 勉, 中村平編, 体育・スポーツ経営学講義 (大修館書店)
  - 4) 松村和則, 地域づくりとスポーツの社会学 (道和書院)
  - 5) 関 春南, 戦後日本のスポーツ政策 (大修館書店)

**評価方法** コミュニティスポーツに関するレポートを課す。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1・2	柳沢和雄	コミュニティスポーツの収斂としての総合型地域スポーツクラブ	コミュニティスポーツ, 生涯スポーツ スポーツ経営の構造 スポーツ振興基本計画
3・4	〃	総合型地域スポーツクラブを理解する	地域スポーツクラブ連合 新自由主義 民営化 総合型地域スポーツクラブ政策
5・6	〃	コミュニティにおけるスポーツ空間と総合型地域スポーツクラブ	保健体育審議会答申, 生活圏, ゾーニング, 指定管理者制度
7・8	〃	スポーツプロモーションとスポーツ事業	プログラムサービスタイプ, プログラミング スポーツイベント 指導者養成 サッカーくじ
9・10	〃	住民主導のスポーツプロモーションと社会システム	住民主導 社会経済システム 互助・共助 ボランティア コミュニティ形成

# スポーツプロモーション法制論特講 (01EK302) 本年度開講せず

単位数	1単位	担当教官	齋藤 健司・成瀬和弥
授業時間	水曜日 7・8時限後半	研究室	東京地区
授業形態	講義		つくば地区 B602 電話029-853-6364
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	金曜日 17時30分～19時30分

**学習目標** スポーツプロモーションに関する法制度全般を概説し検討する。また、今後のスポーツ立法政策について考える。

**授業概要** スポーツ関連法制について歴史的に概観し、スポーツプロモーションに向けたスポーツ立法の展開過程や諸課題を具体的な事例を通じて講義する。

## テキスト

- 参考図書** 1) 小笠原正 (監) : 導入対話によるスポーツ法学、不磨書房、2007 年  
2) 千葉正士ほか 編 : スポーツ法学入門、体育施設出版、2000 年

**評価方法** 出席、授業の状況、レポートによって評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	齋藤健司	スポーツ法の構造	スポーツ国家法、スポーツ固有法
2	〃	スポーツ振興法	スポーツ振興法、日本スポーツ振興センター法
3	〃	スポーツと人権 (1)	スポーツ憲章、スポーツ権
4	〃	スポーツと人権 (2)	自由と平等、国籍、男女平等、教育
5	〃	スポーツと経済法 (1)	スポーツと契約、
6	〃	スポーツと経済法 (2)	パブリシティ権、放送権
7	〃	スポーツ事故と法	スポーツ訴訟、事故訴訟、リスクマネジメント
8	〃	スポーツ紛争と法	スポーツADR、仲裁、調停、ドーピング法
9	〃	プロスポーツめぐる法的問題	Jリーグ規約、野球協約、労働法、独占禁止法
10	〃	スポーツと環境法	スポーツの環境問題、公園法、リゾート法

# スポーツの倫理と教育 (01EK321)

単位数	1単位	担当教官	岡出美則 他
授業時間	3学期 水曜日 7・8時限前半	研究室	東京地区
授業形態	講義		つくば地区 B508 電話029-853-6349
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	月曜日 16時30分～17時30分

**学習目標** 我が国のスポーツプロモーションにおけるスポーツの倫理について、オリンピックムーブメント等の具体的な事例に即して説明できる。また、我が国のスポーツ教育の政策の歴史を踏まえ、今後の課題について説明することができる。

**授業概要** 我が国のスポーツプロモーションにおけるスポーツの倫理について、オリンピックムーブメントなど具体的な事例を通じて講義する。また我が国のスポーツ教育政策の歴史を概観し、スポーツ教育の諸課題について講義する。

## テキスト

**参考図書** 日本体育学会学校体育問題検討特別委員会（監）（2002）世界学校体育サミット，杏林書院：東京  
日本オリンピック・アカデミー編（2008）ポケット版オリンピック事典，株式会社楽

**評価方法** 授業で科する課題への取り組み並びにレポート

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	岡出美則	スポーツと教育の関係論	スポーツ振興法、スポーツ振興基本計画、スポーツ立国、身体教育。身体を通しての教育。運動の中の教育
2	〃	学校体育の現状	ベルリンアジェンダ。プンタ・デル・エステ宣言
3	〃	学習指導要領の位置づけ	学習指導要領。ナショナルスタンダード。ナショナルカリキュラム、国立教育政策研究所
4	〃	学習指導要領の歴史と作成過程	中央教育審議会。保健体育審議会。国立教育政策研究所。
5	〃	体育教師の養成システム	現職教育。信念。エキスパタイズ。教員免許。教員採用試験、免許更新制度
6	真田 久		IOC、オリンピック憲章、オリンピックバリュー
7	〃	オリンピックの価値とは	オリンピック国民運動、オリンピック学習読本
8	〃	東京オリンピックとオリンピック学習	地雷撲滅運動、One School One Country
9	〃	長野オリンピックと一校一国運動	オリンピック教育プラットフォーム、附属高校、
10	〃	筑波大学附属学校におけるオリンピック教育 パラリンピック教育	パラリンピック・ムーブメント、スペシャルオリンピックス

# スポーツプロモーションとビジネス (01EK322)

単位数	1単位	担当教官	仲澤眞・嵯峨 寿
授業時間	3学期 水曜日 7・8時限後半	研究室	つくば地区 電話029-853-6375 (仲澤)
授業形態	講義		つくば地区 電話029-853-2629 (嵯峨)
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	

**学習目標** スポーツプロモーションに関連する産業やビジネスを概観し、ビジネスマネジメントの視点からスポーツやスポーツイベントの特徴について事例を通じて講義する。

**授業概要**

- ・プロスポーツにおけるプロモーションの実際を概括し、プロモーションの効率を高める方策やスポーツ文化の行方をふまえたプロモーションのあり方について理解を深める。
- ・企業ビジネスの現場において、スポーツはどのようにビジネスと自身のプロモーションを図ることができるか、モデル事例をもとに考えたい。

**テキスト** 図解スポーツマネジメント、山下秋二ら、大修館書店、2005

**参考図書** The Olympic Games Effect How Sports Marketing Builds Strong Brands, J. Davis, 2008  
新マーケティング・コミュニケーション戦略論、亀井昭宏ら、日本広告研究所、2009  
マーケティング原理 第9版—基礎理論から実践戦略まで、コトラーら、ダイヤモンド社、2003  
オリンピックはなぜ、世界最大のイベントに成長したのか、M・ペイン、2008

**評価方法** 出席、授業時のディスカッションへの対応、学期末のレポートから総合的に評価する。

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	仲澤 眞	コミュニケーション論とプロモーション戦略	コミュニケーション過程、プル戦略、プッシュ戦略
2	仲澤 眞	メディアの多様化とプロモーション戦略	CGM、関係性マーケティング
3	仲澤 眞	プロサッカーにおけるプロモーション事例(1)	記号化、メッセージ、メディア・ミックス
4	仲澤 眞	プロサッカーにおけるプロモーション事例(2)	横浜FM、MAP13、マーケットリサーチ
5	仲澤 眞	プロ野球におけるプロモーション事例	東京ヤクルト、女性観戦者
6	仲澤 眞	パブリックリレーション活動	ロールモデル教育、パブリシティー戦略
7	嵯峨 寿	スポーツ用品企業のスポーツプロモーション	cause-related marketing、cause promotion
8	嵯峨 寿	企業のオリンピックビジネス	商業主義、オリンピズム、スポンサーシップ
9	嵯峨 寿	企業の社会的責任とスポーツ	CSR、社会貢献、イノベーション
10	嵯峨 寿	2019ラグビーW杯のプロモーション戦略	one for all、企業スポーツ、顧客創造

# トップアスリートのトレーニング (01EK323)

単位数 1単位 担当教官 白木 仁 他  
授業時間 3学期 金曜日 7・8時限後半 研究室 つくば地区 電話029-853-  
授業形態 講義  
標準履修年次 1・2年次 オフィスアワー 曜日 時～ 時

---

---

## 学習目標

**授業概要** トップアスリートの競技力向上のためのトレーニング及びバイオメカニクスを学ぶ。ジュニア期のトレーニング、年間計画、身体運動におけるバイオメカニクスの目的、活用法などについて考える。この講義は前半をトレーニング論（6）、後半（4）をバイオメカニクス論とし、それぞれ別の先生が担当する。

## テキスト

## 参考図書

## 評価方法

---

## 授業計画

---

回	担当教官	授 業 内 容	キーワード
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

---

# トップコーチング (01EK324)

単位数	1単位	担当教官	河合 季信 他
授業時間	3学期 金曜日 7・8時限前半	研究室	つくば地区 電話029-853-2646
授業形態	講義		
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	月曜日 10時～ 12時

**学習目標** 強豪国における国際競技力向上のフレーム（枠組み）を理解し、日本が世界のトップレベルで活躍している競技における強化施策および実際のコーチングスキルについて学ぶ。

**授業概要** オリンピックやワールドカップなどで選手が高いパフォーマンスを発揮するためのコーチング論。トップチームに必要なマネジメント、代表監督の役割と資質について考える。さらに、情報戦略・メンタル・栄養・キャリアサポートについての基礎的な知識や大会におけるリスクマネジメントなどについて具体的に学ぶ。この講義は数名の先生がそれぞれの専門分野をリレー講義形式で担当する。

**テキスト** 特になし

**参考図書** 講義内で各担当者から紹介

**評価方法** 出席・参加意欲（50%）、レポート（50%）

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	河合 季信	オリエンテーション	国際競技力向上, コーチング, トレーニング
2	〃	世界強豪国における国際競技力向上のフレーム	
3	本間三和子	シクロクロス「スイング」におけるトップコーチング	
4	〃	〃	
5	谷川 聡	陸上競技におけるトップコーチング	
6	〃	〃	
7	風間 八宏	サッカーにおけるトップコーチング	
8	〃	〃	
9	岡田 弘隆	柔道におけるトップコーチング	
10	〃	〃	

# 生涯スポーツのトータルマネジメント (01EK325)

単位数	1単位	担当教官	坂本 昭裕 他
授業時間	2学期 水曜日 7・8時限後半	研究室	つくば地区 電話029-853-6361
授業形態	講義		
標準履修年次	1・2年次	オフィスアワー	月曜日 15時～16時半(5限時)

---

学習目標	競技スポーツとは異なる目的、側面を持つ身体運動・スポーツのマネジメントについて理解を深めること。
授業概要	野外スポーツ、ダンス、障がい者スポーツなどを取り上げ、それらの歴史や教育的側面を踏まえた最新のマネジメントについて学ぶ。さらに、このような身体運動・スポーツについての現状などから諸問題を検証し、理解を深める。数名の先生がリレー講義形式で担当する。
テキスト	特になし
参考図書	各教員が必要に応じて紹介する。
評価方法	レポート、授業への貢献度（出席、発言など）から総合的に評価する。

---

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1	坂本昭裕	不登校児や発達障害児、非行少年などの野外教育プログラムのマネジメントを取り上げる。	キャンプ 冒険教育プログラム 心のマネジメント
2			
3	井村 仁	スキーの歴史を踏まえ、スキー場経営や雪上スポーツのマネジメントを取り上げる。	スキー 雪上活動 XC スキー
4			
5	寺山由美	30代から80代における生涯スポーツでのダンスの実態を取り上げ、指導者と参加者がどのような点に留意して活動を進めているか検討する。	
6			
7	平山素子	ダンスの多様性と歴史を紹介し、身体発のコミュニケーション方法を様々な角度から検証する。	
8			
9	澤江幸則	障害のある人や子どものスポーツ実践の可能性を示すとともに、その実践を支えるための方法論について、アダプテッド・スポーツ的観点から検討する。	アダプテッド・スポーツ 日常化・社会化 障害観
10			

---

1・2回目	10月12日（水）	坂本昭裕
3・4回目	10月19日（水）	井村 仁
5・6回目	10月26日（水）	寺山由美
7・8回目	11月2日（水）	平山素子
9・10回目	11月9日（水）	澤江幸則

# スポーツ健康科学論 V

単位数 1単位

担当教官 ヨーコ・ゼッターランド

授業時間 2・3学期 集中

研究室

標準履修年次 1・2年次

オフィスアワー

**学習目標** メディア、スポーツ、スポーツ報道に焦点をあて、日本のスポーツの文化的価値について検証する

**授業概要** 日本女子バレーボールの変遷を起点にメディアがスポーツの発展・強化にどのように貢献しているかを学習する。また、アスリートが発信するメッセージがスポーツ報道を通じ、日本社会に受け入れられているか様々なインタビューを取り上げてディスカッションを行い、海外のスポーツ界と比較して日本社会でのスポーツの位置づけについて考える。これに付随して「メディア・トレーニング」を紹介し、実践授業を行う。

**参考図書** 必要に応じ、講義中に紹介する。

**評価方法** レポート70% 授業への取り組み・姿勢30%

## 授業計画

回	担当教官	授業内容	キーワード
1週	ヨコ・ゼッターランド	日本女子バレーボール史・戦績紹介 スポーツ報道の形式、アスリートの役割 スポーツとメディアの関係、海外のスポーツ界	メダル 報道 ロールモデル 発展と普及 スポーツ メディア
2週		情報の発信。スポーツの社会的地位向上の必要事業仕分け 性。メディア・トレーニング講義と実践。	スポーツ政策 メダル獲得率 メディア・トレーニング
3週		メディア・トレーニング講義と実践。 今後のスポーツ界とメディアの関わり。まとめ	